

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年9月

事業所名

放課後等デイサービス虹の郷

	チェック項目	実数			割合	
		はい	いいえ	合計	■ はい	■ いいえ
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	6	100%	0%
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1	6	83%	17%
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	6	100%	0%
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	6	100%	0%
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	6	100%	0%
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	4	100%	0%
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	4	0%	100%
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	6	100%	0%
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	5	100%	0%
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	4	100%	0%
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	6	100%	0%
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	6	100%	0%
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	6	100%	0%
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	6	100%	0%
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	6	100%	0%
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	6	100%	0%
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	6	100%	0%
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	5	100%	0%
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	5	100%	0%
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	6	100%	0%	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	6	100%	0%
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	4	0%	100%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	4	4	0%	100%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	3	0%	100%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	5	100%	0%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	0	6	100%	0%
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	4	50%	50%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	6	100%	0%
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	4	25%	75%
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	5	100%	0%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	5	100%	0%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	4	25%	75%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	4	100%	0%
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	6	100%	0%
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	6	100%	0%
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	6	100%	0%
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	5	40%	60%
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	6	100%	0%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	6	100%	0%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	6	100%	0%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	6	100%	0%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	4	100%	0%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	6	100%	0%

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2023年9月

事業所名 放課後等デイサービス虹の郷

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	その場の状況に応じ、支援室だけでなく学習室も活動、遊ぶスペースに活用している。	同じ空間で個々がやりたいことをして過ごせるよう、遊ぶ場所を分かりやすく示し安全面に配慮しているが、静と動の環境を限られたスペースで確保していくのが課題。
	2 職員の配置数は適切であるか	有資格者の配置や利用者人数により基準を満たすようシフト調整している。	職員の数が足りないと感じる日があるが、事前の打ち合わせを細かく行い対応している。職員数がギリギリであり、長期休みは臨時職員に負担をかけているのが課題。
	3 事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか	室内は段差のない設計となっている。トイレに手すり、車いすでも対応できる広さがある。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日、支援前のミーティングでPDCAを行う。参加できない職員には個別で流れを伝えている。	長期休み中はSNSを活用して共有。特性に配慮し、集団だけでなく個別にも対応できるように内容に工夫を入れている。行動を予測しながら細かい打合せに心がけていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	結果を伝え、改善すべき点は職員全員で話し合い改善に努めている。	その他、日々保護者と顔を合わせたときのコミュニケーションを大切に、その時に得た意向は職員で共有。よりよい支援のために全員で考えていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	当社ホームページにて公表している	利用が遠退いている方にも、会報を届けるなどで発信を続けていきたい。ホームページの存在を知らない人も多いため、見ていただけるように発信していきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	評価してもらえようとしている。	前回の評価結果を受けて改善したため、来年度も継続する
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	会社より研修参加の義務、会社独自の研修、飛騨地区勉強会で資質向上に努めている。	全員参加でなくとも資質向上につながると感じた研修は、管理者から職員に参加を勧めている。研修報告書にて記録に残し振り返れるようにする。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	細やかなアセスメントに心がけている。日々の支援からもニーズを拾い個別支援計画を作成	児童発達管理責任者が保護者とお話しをする機会が多いため、全体に周知する必要がある場合は必ず伝え、全職員が共通理解できるようにしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	指定されたアセスメントシートを使用している。	アセスメントツールを基に、個々の適応行動の状況を適切に図れるよう丁寧に行っていききたい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	全員で意見を出し合い目的を明確にして計画している	これまでの活動のPDCAや最近の子ども達の様子など、現場の状況をよく捉え、よい活動を計画していきたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	継続的に行うことを大切にしながらも、新しい活動を取り入れながら子どもたちが楽しく参加できるようにしている	初めての経験に戸惑う子どもも多いため、繰り返し行うことも大切にしながら、子どもたちの姿に合わせて内容を変化・発展させていきたい
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	利用時間が長い日は、時間を有効に使える活動を取り入れたり支援が充実するように皆で話し合っ決めていく	1人1人の気持ちを大切に、日々の行動から課題を拾うように心がけていく。コロナウィルスも緩和したため、地域の方との交流できる機会を増やしていきたい、支援につなげていきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どものことを把握できるように職員全員で意見を出し、作成している	集団活動でも、子に合わせて個別で対応し活動に参加できるように今後も継続していく。その場合は、意図をしっかり持ち支援していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	その日予測される行動、リスクを前提に話し合いができていく	活動・支援について共有しているが、具体的な役割分担についてさらに確認していく必要がある
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	平日は支援前に打ち合わせを行っている。すぐに共有すべきことはその日に伝えあい振り返りできている	特に学級日には、全員で揃って会議をする時間が少なくなってしまう。会議だけではなく気付いたことはすぐに報告・相談をしたり共有ノートに記したりすることで、共有漏れがないように努める
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	何かあったとき、振り返り、状況がわかるように記録に残している	利用者記録の記入が独りよがりになってしまわないよう、全員で情報を交わしながら書けるように徹底していく	

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	組合わせて内容をバランスよく取り組んでいる
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	知り得た内容について全職員に周知している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	通信から情報を拾っている。また変更ある場合は、学校から連絡を受けたり問い合わせしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	事例なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	就学前の時点で利用を希望している子については、申し送りを受けている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	卒業前から移行に向けて関係機関と話し合いをしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	機関主催の研修会を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	近くの小学校のグラウンドに遊びにく、児童館訪問、図書館に行く活動を取り入れている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	地域での課題について検討できている。また幅広い視点から考える機会となっている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時などに気になる点など話し合っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	必要に応じて時間を設け、事業所内で面談している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	気軽に話ができるカフェを毎月計画している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	必要に応じて関係機関と連携をとっている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	郷新聞の発行にて発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	一緒に書類を記入する、利用日を決める等の支援をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	年に一度マニュアルを改定し、常に新しい対応ができるよう努める	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	消防署にも協力を得て訓練を行えている。活動に避難訓練を取り入れている	子どもたちが災害について関心を持ち、訓練に意欲に取り組めるように訓練の導入、内容に工夫しておりこれからも継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	全員参加に努めている 研修会だけでなく虐待防止のために職員のコミュニケーションも大切にしている	繰返しの研修と研修後にレポートを書いて振り返り、常に虐待防止が意識できるように継続していく。日々の支援でも振り返り職員同士で話し合い、話しやすい雰囲気づくりをしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	書面にも署名をもらっている	必要な際には、説明責任を果たし、支援計画に記載する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		どの職員も周知して対応出来るよう徹底
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	毎日、現実のヒヤリハットを振り返り原因を探り予防に努めている。特に多い事例は定期的な会議でも話し合っている。	日々のヒヤリハットを振り返るだけでなく、内容をまとめて全体として振り返ることで、危険な時間帯・場所など、傾向をつかんで対策していきたい。